

1. 次の2次関数のグラフをかけ。また、その軸と頂点をいえ。

(1)  $y = \frac{1}{2}x^2 + 2x$

(2)  $y = (2x+1)(x-2)$

2. 次の条件を満たす2次関数を求めよ。

(1)  $x=1$  のとき最小値  $-2$  をとり、 $x=-1$  のとき  $y=6$

(2)  $x=-2$  のとき最大値  $6$  をとり、 $x=1$  のとき  $y=-3$

3. 次の条件を満たす放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

(1) 頂点が点  $(1, 2)$  で、点  $(0, 4)$  を通る。

(2) 直線  $x=-3$  を軸とし、2点  $(-2, 0)$ ,  $(1, -15)$  を通る。

4. グラフが次の3点を通る2次関数を求めよ。

(1)  $(-1, 0), (0, 2), (1, 6)$

(2)  $(-1, -6), (1, 0), (2, 6)$

(3)  $(1, -1), (2, 6), (-3, -9)$

(4)  $(-2, -9), (2, 7), (4, -9)$

5. グラフが次の条件を満たすような2次関数を求めよ。

- (1) 放物線  $y = x^2 - 3x + 2$  を平行移動したもので、2点(1, 2), (2, 3)を通る。
- (2) 放物線  $y = 2x^2 + 3x + 1$  を平行移動したもので、軸が直線  $x = -1$ ,  $y$  軸と点(0, 7)で交わる。

6.  $x$  の2次関数  $y = x^2 + 2mx + 3m$  の最小値を  $k$  とする。

- (1) この関数の最小値  $k$  を  $m$  の式で表せ。
- (2) この関数の最小値  $k$  が  $-4$  であるとき、 $m$  の値を求めよ。
- (3)  $k$  の値を最大にする  $m$  の値と、 $k$  の最大値を求めよ。

7.  $a$  を定数とする。関数  $y = -x^2 + 2ax - a$  ( $-2 \leq x \leq 0$ ) の最小値を次の各場合について、

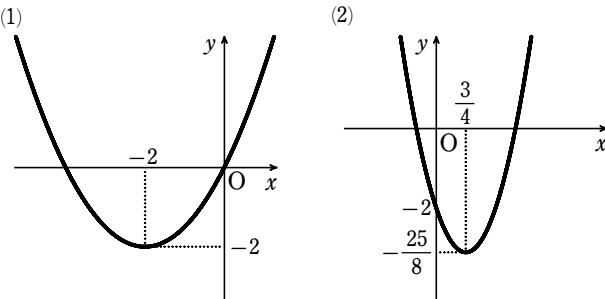
- それぞれ求めよ。
- (1)  $a < -1$
  - (2)  $a = -1$
  - (3)  $a > -1$

1. 次の2次関数のグラフをかけ。また、その軸と頂点をいえ。

$$(1) y = \frac{1}{2}x^2 + 2x$$

$$(2) y = (2x+1)(x-2)$$

**解答** (1) [図]、直線  $x = -2$ 、点  $(-2, -2)$  (2) [図]、直線  $x = \frac{3}{4}$ 、点  $\left(\frac{3}{4}, -\frac{25}{8}\right)$

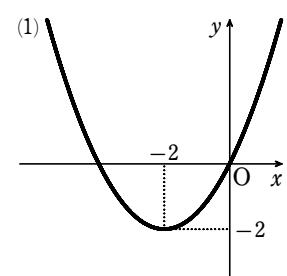


**解説**

$$(1) y = \frac{1}{2}x^2 + 2x = \frac{1}{2}(x^2 + 4x)$$

$$\begin{aligned} &= \frac{1}{2}(x^2 + 2 \cdot 2x + 2^2) - \frac{1}{2} \cdot 2^2 \\ &= \frac{1}{2}(x+2)^2 - 2 \end{aligned}$$

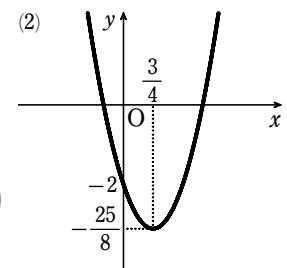
グラフは[図]、軸は直線  $x = -2$ 、頂点は点  $(-2, -2)$



$$(2) y = (2x+1)(x-2) = 2x^2 - 3x - 2$$

$$\begin{aligned} &= 2\left[x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right] - 2\left(\frac{3}{4}\right)^2 - 2 \\ &= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 - \frac{25}{8} \end{aligned}$$

グラフは[図]、軸は直線  $x = \frac{3}{4}$ 、頂点は点  $\left(\frac{3}{4}, -\frac{25}{8}\right)$



2. 次の条件を満たす2次関数を求めよ。

$$(1) x=1 のとき最小値 -2 をとり、x=-1 のとき y=6$$

$$(2) x=-2 のとき最大値 6 をとり、x=1 のとき y=-3$$

**解答** (1)  $y = 2x^2 - 4x$  (2)  $y = -x^2 - 4x + 2$

**解説**

(1)  $x=1$  のとき最小値  $-2$  をとるから、求める2次関数は  $y = a(x-1)^2 - 2$  ( $a > 0$ ) とおける。 $x=-1$  のとき  $y=6$  であるから

$$4a - 2 = 6 \quad \text{ゆえに } a = 2 \quad \text{これは } a > 0 \text{ を満たす。}$$

よって、求める2次関数は

$$y = 2(x-1)^2 - 2 \quad \text{すなわち} \quad y = 2x^2 - 4x$$

(2)  $x=-2$  のとき最大値  $6$  をとるから、求める2次関数は  $y = a(x+2)^2 + 6$  ( $a < 0$ ) とおける。 $x=1$  のとき  $y=-3$  であるから

$$9a + 6 = -3 \quad \text{ゆえに } a = -1 \quad \text{これは } a < 0 \text{ を満たす。}$$

よって、求める2次関数は

$$y = -(x+2)^2 + 6 \quad \text{すなわち} \quad y = -x^2 - 4x + 2$$

3. 次の条件を満たす放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

(1) 頂点が点  $(1, 2)$  で、点  $(0, 4)$  を通る。

(2) 直線  $x = -3$  を軸とし、2点  $(-2, 0)$ ,  $(1, -15)$  を通る。

**解答** (1)  $y = 2x^2 - 4x + 4$  (2)  $y = -x^2 - 6x - 8$

**解説**

(1) 頂点が点  $(1, 2)$  であるから、求める2次関数は  $y = a(x-1)^2 + 2$  とおける。

$$\text{このグラフが点 } (0, 4) \text{ を通るから } a+2=4 \quad \text{ゆえに } a=2$$

よって、求める2次関数は

$$y = 2(x-1)^2 + 2 \quad \text{すなわち} \quad y = 2x^2 - 4x + 4$$

(2) 軸が直線  $x = -3$  であるから、求める2次関数は  $y = a(x+3)^2 + q$  とおける。

このグラフが2点  $(-2, 0)$ ,  $(1, -15)$  を通るから

$$a+q=0, \quad 16a+q=-15 \quad \text{これを解いて } a=-1, \quad q=1$$

よって、求める2次関数は

$$y = -(x+3)^2 + 1 \quad \text{すなわち} \quad y = -x^2 - 6x - 8$$

4. グラフが次の3点を通る2次関数を求めよ。

$$(1) (-1, 0), (0, 2), (1, 6)$$

$$(2) (-1, -6), (1, 0), (2, 6)$$

$$(3) (1, -1), (2, 6), (-3, -9)$$

$$(4) (-2, -9), (2, 7), (4, -9)$$

**解答** (1)  $y = x^2 + 3x + 2$  (2)  $y = x^2 + 3x - 4$  (3)  $y = x^2 + 4x - 6$

$$(4) y = -2x^2 + 4x + 7$$

**解説**

求める2次関数を  $y = ax^2 + bx + c$  とおく。

(1) グラフが3点  $(-1, 0)$ ,  $(0, 2)$ ,  $(1, 6)$  を通るから

$$\begin{cases} a-b+c=0 & \dots \text{①} \\ c=2 & \dots \text{②} \\ a+b+c=6 & \dots \text{③} \end{cases}$$

$$\text{②を①に代入して } a-b+2=0 \quad \dots \text{④}$$

$$\text{②を③に代入して } a+b+2=6 \quad \dots \text{⑤}$$

$$\text{④+⑤から } 2a+4=6 \quad \text{ゆえに } a=1$$

$$\text{⑤-④から } 2b=6 \quad \text{ゆえに } b=3$$

よって、求める2次関数は  $y = x^2 + 3x + 2$

(2) グラフが3点  $(-1, -6)$ ,  $(1, 0)$ ,  $(2, 6)$  を通るから

$$\begin{cases} a-b+c=-6 & \dots \text{①} \\ a+b+c=0 & \dots \text{②} \\ 4a+2b+c=6 & \dots \text{③} \end{cases}$$

$$\text{②-①から } 2b=6 \quad \text{ゆえに } b=3$$

$$\text{③-②から } 3a+b=6 \quad \dots \text{④}$$

$$\text{④に } b=3 \text{ を代入して } 3a+3=6 \quad \text{ゆえに } a=1$$

$$a=1, \quad b=3 \text{ を②に代入して } 1+3+c=0 \quad \text{ゆえに } c=-4$$

よって、求める2次関数は  $y = x^2 + 3x - 4$

(3) グラフが3点  $(1, -1)$ ,  $(2, 6)$ ,  $(-3, -9)$  を通るから

$$\begin{cases} a+b+c=-1 & \dots \text{①} \\ 4a+2b+c=6 & \dots \text{②} \\ 9a-3b+c=-9 & \dots \text{③} \end{cases}$$

$$\text{②-①から } 3a+b=7 \quad \dots \text{④}$$

$$\text{③-②から } 5a-5b=-15 \quad \text{よって } a-b=-3 \quad \dots \text{⑤}$$

$$\text{④+⑤から } 4a=4 \quad \text{ゆえに } a=1$$

$$a=1 \text{ を④に代入して } 3+b=7 \quad \text{ゆえに } b=4$$

$$a=1, \quad b=4 \text{ を①に代入して } 1+4+c=-1 \quad \text{ゆえに } c=-6$$

よって、求める2次関数は  $y = x^2 + 4x - 6$

(4) グラフが3点  $(-2, -9)$ ,  $(2, 7)$ ,  $(4, -9)$  を通るから

$$\begin{cases} 4a-2b+c=-9 & \dots \text{①} \\ 4a+2b+c=7 & \dots \text{②} \\ 16a+4b+c=-9 & \dots \text{③} \end{cases}$$

$$\text{②-①から } 4b=16 \quad \text{ゆえに } b=4$$

$$\text{③-②から } 12a+2b=-16 \quad \text{よって } 6a+b=-8 \quad \dots \text{④}$$

$$b=4 \text{ を④に代入して } 6a+4=-8 \quad \text{ゆえに } a=-2$$

$$a=-2, \quad b=4 \text{ を①に代入して } -8-8+c=-9 \quad \text{ゆえに } c=7$$

よって、求める2次関数は  $y = -2x^2 + 4x + 7$

5. グラフが次の条件を満たすような2次関数を求めよ。

- (1) 放物線  $y=x^2-3x+2$  を平行移動したもので、2点(1, 2), (2, 3)を通る。
- (2) 放物線  $y=2x^2+3x+1$  を平行移動したもので、軸が直線  $x=-1$ ,  $y$  軸と点(0, 7)で交わる。

解答 (1)  $y=x^2-2x+3$  (2)  $y=2x^2+4x+7$

解説

(1) 放物線  $y=x^2-3x+2$  を平行移動したものであるから、求める2次関数は  $y=x^2+bx+c$  とおける。

このグラフが2点(1, 2), (2, 3)を通るから

$$2=1+b+c, \quad 3=4+2b+c$$

すなわち  $b+c=1, \quad 2b+c=-1$

これを解くと  $b=-2, \quad c=3$

よって、求める2次関数は  $y=x^2-2x+3$

(2) グラフが放物線  $y=2x^2+3x+1$  を平行移動したもので、軸が直線  $x=-1$  であるから、求める2次関数は  $y=2(x+1)^2+q$  とおける。

点(0, 7)を通るから  $2+q=7$  ゆえに  $q=5$

よって、求める2次関数は

$$y=2(x+1)^2+5 \quad \text{すなわち} \quad y=2x^2+4x+7$$

6.  $x$  の2次関数  $y=x^2+2mx+3m$  の最小値を  $k$  とする。

- (1) この関数の最小値  $k$  を  $m$  の式で表せ。
- (2) この関数の最小値  $k$  が -4 であるとき、 $m$  の値を求めよ。
- (3)  $k$  の値を最大にする  $m$  の値と、 $k$  の最大値を求めよ。

解答 (1)  $k=-m^2+3m$  (2)  $m=-1, 4$  (3)  $m=\frac{3}{2}$  で最大値  $\frac{9}{4}$

解説

(1)  $y=(x+m)^2-m^2+3m$  より、 $y$  は  $x=-m$  で最小値  $-m^2+3m$  をとるので  $k=-m^2+3m$

(2)  $-m^2+3m=-4$  より  $m^2-3m-4=0$   
これを解いて  $m=-1, 4$

(3)  $-m^2+3m=-\left(m-\frac{3}{2}\right)^2+\frac{9}{4}$  より  $k=-\left(m-\frac{3}{2}\right)^2+\frac{9}{4}$

よって、 $k$  は  $m=\frac{3}{2}$  で最大値  $\frac{9}{4}$  をとる。

7.  $a$  を定数とする。関数  $y=-x^2+2ax-a$  ( $-2 \leq x \leq 0$ ) の最小値を次の各場合について、それぞれ求めよ。

- (1)  $a < -1$
- (2)  $a = -1$
- (3)  $a > -1$

解答 (1)  $x=0$  で 最小値  $-a$  (2)  $x=-2, 0$  で 最小値 1

(3)  $x=-2$  で 最小値  $-4-5a$

解説

$$y=-x^2+2ax-a=-(x-a)^2+a^2-a \quad (-2 \leq x \leq 0)$$

この関数のグラフは上に凸の放物線で、頂点は点  $(a, a^2-a)$

ゆえに、各場合において下の図のようになる。

$x=-2$  のとき  $y=-4-5a, \quad x=0$  のとき  $y=-a$

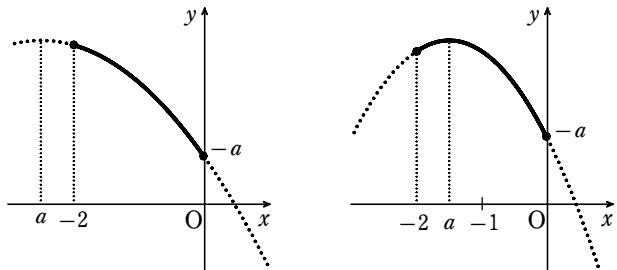
定義域の中央は  $x=-1$  であるから、図より

(1)  $a < -1$  のとき  $x=0$  で 最小値  $-a$

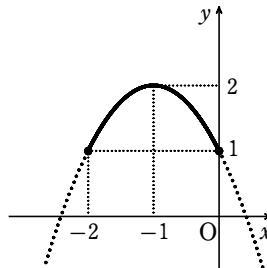
(2)  $a = -1$  のとき  $x=-2, 0$  で 最小値 1

(3)  $a > -1$  のとき  $x=-2$  で 最小値  $-4-5a$

- (1)  $a < -1$



- (2)  $a = -1$



- (3)  $a > -1$

